

## 体験その2

### よもぎもち作り体験

板橋公民館には、12人の生徒が集まりました。

まず、全員手を洗います。味覚体験ということもあり、衛生面には特に気を使います。

体験は、ヨモギをちぎることから始まり、昔ながらの臼と杵でヨモギを混ぜて



もちをつき、ついたもちに餡をつめるまでの作業をします。

この日、ヨモギはあらかじめインストラクターの方で採ってきてありましたが、実際生えているヨモギを見たことがないという生徒のために、インストラクターの山口さんが外に出て説明を行うという場面も見られました。

もちつきでは、初めて杵を持つという生徒が多く、最初はなかなか思うようにいかないようでしたが、インストラクターの優しく分かりやすい指導で、もちがヨモギ色になるころには力強くもちがつけるようになっていました。



自分たちの手で作ったよもぎもちのおいしさは格別です。生徒たちは、「おいしい。自分の家に持って帰って家族に食べさせたい」と言っていました。衛生管理上持つて帰ることができ



ないことを聞くと、残念そうにしていました。

スーパードに行けばすぐ買えるよもぎもち。よもぎもちに限らず味覚体験では、スーパードでは買うことのできない心と心のふれあいを得ることができます。

体験が始まったばかりの堅い表情は、時間とともに笑顔がこぼれ出し、生徒とインストラクターの間には楽しい会話が弾み、心と心のつながりも生まれました。



## 体が続く限り 続けていきたい

インストラクター

写真前列左から

大川内チカ子さん

森山スマ子さん

後列左から

田中和枝さん

山口百合子さん

今日は4人でしたが、いつもは田中千州子さんも一緒に5人で助け合いながらインストラクターをしています。ちゃんぽん、押し寿司、かから団子、よもぎもち…何にでも対応します。毎回、持ち寄った季節の花を挿して迎えたり、自分たちも飾らずに接するようにはしたりして、子どもたちが気持ちよく体験できるよう努めています。体験に来る子どもたちはみんなとてもかわいくて、自分の子どもや孫と思って接しています。私たちも子どもたちから元気をもらっています。体が続く限り続けていきたいですね。



## 体験を終えて

写真前列右から

秋葉えりかさん

塩田麻貴さん

石川英莉果さん

速國沙也果さん

後列右から

平佑美さん

福山遥香さん



自分たちで作ったよもぎもちらは、スーパードット買った物よりもモチモチしてやわらかくて、とてもおいしかったです。杵が重く、思うようにもちがつけなくて大変でしたが、楽しく体験することができました。